

2021 リハビリテーション（歩行）①

問題 1

正常歩行の周期について誤っているのはどれか。

- 1 歩行周期には立脚期と遊脚期とがある。
- 2 立脚中期には全体重が一方の足にかかる。
- 3 立脚期と遊脚期の時間的割合は6対4である。
- 4 立脚期は4フェーズの動きに分類される。

問題 2

歩行と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

- 1 間欠性跛行——進行性筋ジストロフィー
- 2 すくみ足歩行——パーキンソン症候群
- 3 失調性歩行——小脳変性症
- 4 トレンデレンブルグ歩行——先天性股関節脱臼

問題 3

異常歩行について正しい記述はどれか。

- 1 脚長差が3cm以内であれば異常は目立たない。
- 2 疼痛性跛行では患側の立脚相の時間が長くなる。
- 3 脳卒中片麻痺では足の内側から接地する。
- 4 小きざみ歩行は筋ジストロフィー症にみられる。

問題 4

次の文で示す神経麻痺で、麻痺神経に対する治療穴として正しいのはどれか。「足関節は底屈し、内反もある。歩行は鶏歩となる。」

- 1 髀関
- 2 陽陵泉
- 3 承筋
- 4 湧泉

問題 5

分回し歩行を示すのはどれか。

- 1 ギラン・バレー症候群
- 2 脳卒中
- 3 脊髄小脳変性症
- 4 慢性関節リウマチ

問題 6

歩行周期の遊脚相に含まれるのはどれか。

- 1 踵接地
- 2 足底接地
- 3 加速期
- 4 踏み切り

問題 7

異常歩行と原因の組合せで誤っているのはどれか。

- 1 酩酊歩行——小脳疾患
- 2 小刻み歩行——パーキンソン病
- 3 アヒル歩行——筋ジストロフィー
- 4 鶏歩——股関節脱臼

問題 8

トレンデレンブルグ歩行の原因となる筋はどれか。

- 1 中殿筋
- 2 大殿筋
- 3 大腿四頭筋
- 4 前脛骨筋

問題 9

歩行について誤っている記述はどれか。

- 1 1サイクルは2歩に相当する。
- 2 二重支持期がない場合は走行となる。
- 3 重心の軌跡はサインカーブを描く。
- 4 バランスの悪い人は歩隔が狭くなる。

問題 10

次の文で示す症状を起こす罹患神経に対し、施術対象となる経絡はどれか。「ヒラメ筋、後脛骨筋、長母指屈筋の麻痺のために歩行困難をきたしている。」

- 1 足の陽明胃経
- 2 足の太陽膀胱経
- 3 足の少陽胆経
- 4 足の厥陰肝経

問題 11

歩行について誤っている組合せはどれか。

- 1 鶏歩——下位運動ニューロン障害
- 2 痙性歩行——上位運動ニューロン障害
- 3 アヒル歩行——錐体外路障害
- 4 失調性歩行——小脳障害

問題 12

正常歩行において遊脚期に活動がみられない筋はどれか。

- 1 前脛骨筋
- 2 ヒラメ筋
- 3 大腿四頭筋
- 4 腸腰筋

問題 13

正常歩行周期について誤っている記述はどれか。

- 1 立脚期と遊脚期の比率は6対4である。
- 2 重心が最も低くなるのは立脚中期である。
- 3 骨盤の回旋は重心の上下動を小さくする。
- 4 一側の膝関節は屈曲と伸展をそれぞれ2回行う。

問題 14

歩行時の重心移動を滑らかにする身体の仕組みで誤っている記述はどれか。

- 1 立脚中期に膝関節が屈曲する。
- 2 遊脚側の骨盤が前方に回旋する。
- 3 骨盤が立脚側に側方移動する。
- 4 遊脚側の骨盤が挙上する。

問題 15

正常歩行の立脚中期から後期にかけて強く収縮する筋はどれか。

- 1 大腿四頭筋
- 2 ハムストリングス
- 3 前脛骨筋
- 4 下腿三頭筋

問題 16

「65歳の男性。1年程前から歩行時に左腰部、下腿外側に疼痛が出現するようになった。ケンプ徴候陽性。足背部に知覚鈍麻がみられる。SLRテスト陰性。」罹患神経の支配領域に治療穴をとる場合、適切なのはどれか。

- 1 外丘
- 2 合陽
- 3 築賓
- 4 三陰交

問題 17

上記の罹患神経上の流注上で「郄穴」はどれか。

- 1 外丘
- 2 丘墟
- 3 光明
- 4 日月

問題 18

通常の平地歩行における歩行周期で立脚相の占める割合はどれか。

- 1 20%
- 2 40%
- 3 60%
- 4 80%

問題 19

正常歩行と異常歩行について誤りはどれか。

- 1 1 サイクルは 1.03 ± 0.1 sec 程度である、
- 2 ケイデンスは単位時間内の歩数を示す。
- 3 歩行重心は全体身長 of 足底から約 55 % のところにある
- 4 普通歩行では毎分 60 ～ 80 歩程度である。

問題 20

姿勢について誤りはどれか。

- 1 正常立位姿勢の重心線は、耳 - C1 - C7 - TH10 - L5 - 仙椎前方をとおる。
- 2 抗重力筋とは姿勢維持のための筋を指す。
- 3 尖足では下肢の前方へ回転モーメントがかかる。
- 4 姿勢は体系により影響される。

2021 リハビリテーション（歩行）②

問題 21

歩行周期の踵設置時に筋活動を認めない筋はどれか。

- 1 大殿筋
- 2 前脛骨筋
- 3 ヒラメ筋
- 4 大内転筋

問題 22

歩行異常と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

- 1 間欠跛行---脊柱管狭窄症
- 2 トレンデレンブルグ徴候---側彎症
- 3 分回し歩行---脳卒中
- 4 すくみ足---パーキンソン病

問題 23

正常歩行周期において二重支持期の割合として正しいのはどれか。

- 1 0.6
- 2 40%
- 3 20%
- 4 5%

問題 24

次の文で示す患者の病態に対し、罹患部への局所治療穴として適切なのはどれか。

「65歳の女性。半年前から動作開始時および歩行時に左膝関節内側部に痛みが出現する。」

- 1 足三里
- 2 陽陵泉
- 3 梁丘
- 4 曲泉

問題 25

「65歳の男性。主訴は動作緩慢と振戦で上肢に歯車様固縮がみられる。」本症例でみられる異常歩行はどれか。

- 1 痙性歩行
- 2 トレンデレンブルグ歩行
- 3 小刻み歩行
- 4 失調性歩行

問題 26

歩幅が一定のまま歩行率（ケイデンス）が増加したときに正しい記述はどれか。

- 1 歩隔が小さくなる。
- 2 歩行速度が上がる。

3 1歩行周期の時間が長くなる。

4 歩行周期における二重支持期の割合は変化しない。

問題 27

脳卒中片麻痺患者への歩行指導について正しい記述はどれか。

- 1 歩行訓練開始時に歩行器を使用させる。
- 2 感覚障害が強い患者にはプラスチック製短下肢装具を使用させる。
- 3 見守り歩行では介助者は患者の健側に位置する。
- 4 3動作歩行では杖をついた後は患側下肢を前に出させる。

問題 28

異常歩行とその原因疾患との組合せで正しいのはどれか。

- 1 小刻み歩行 — パーキンソン病
- 2 トレンデレンブルグ歩行 — 変形性膝関節症
- 3 失調性歩行 — 脊髄損傷
- 4 痙性歩行 — ギラン・バレー症候群

問題 29

立位姿勢保持に必要な抗重力筋のうち、誤りはどれか。

- 1 脊柱起立筋
- 2 大腿二頭筋
- 3 下腿三頭筋
- 4 大殿筋

問題 30

正常歩行について正しいのはどれか。

- 1 歩行速度が遅くなると二重支持期は短くなる。
- 2 1歩行周期に側の膝関節は2回屈曲する。
- 3 一侧の踵接地からつま先離れまでを1歩という。
- 4 一侧の踵と他側のつま先との間の距離を歩隔という。

問題 31

異常歩行とその原因となる筋に対する局所治療穴との組合せで正しいのはどれか。

- 1 鶏歩—三陰交
- 2 はさみ脚歩行—陽陵泉
- 3 分回し歩行—足三里
- 4 トレンデレンブルグ歩行—居膠

問題 32

次の文で示す高齢者の機能評価はどれか。

「椅子から立ち上がり、3m先の目印を回って、再び椅子に座るまでの歩行時間を測定する。」

- 1 PCG モラルスケール
- 2 ロコモ度テスト
- 3 タイムドアップアンドゴーテスト
- 4 バーセルインデックス

問題 33

異常歩行と疾患の組合せで正しいのはどれか。

- 1 突進歩行——変形性膝関節症
- 2 あひる歩行——進行性筋ジストロフィー
- 3 はさみ脚歩行——パーキンソン病
- 4 硬性墜落性跛行——脳性麻痺

問題 34

パーキンソン病の歩行障害に対する訓練で最も有効なのはどれか。

- 1 つぎ足歩行訓練
- 2 松葉杖を用いた歩行訓練
- 3 両長下肢装具を用いた歩行訓練
- 4 メトロノームによるリズム歩行訓練

問題 35

高齢者の歩行能力に対する鍼治療の効果を評価するのに最も適切なのはどれか。

- 1 RDQ
- 2 改訂 PGC モラルスケール
- 3 ハミルトン評価尺度
- 4 タイムドアップアンドゴーテスト

問題 36

歩行の5大要素として誤りはどれか。

- 1 立脚中期に膝は約15°屈曲する。
- 2 遊脚期に骨盤は後方に約4°回旋する。
- 3 遊脚側の骨盤は約5°下がる。
- 4 立脚期における骨盤の左右の移動は約4～5cmである。

問題 37

「58歳の男性。2年前から右手の振戦が出現、後に動作が緩慢になってきた。急に狭くなる場所では足が前に出ない。」歩行介助で最も適切なのはどれか。

- 1 静かに見守る。
- 2 積極的に会話する。
- 3 早いテンポの音楽を流す。
- 4 メトロノームでリズムをとる。

問題 38

正常歩行のサイクルで正しいのはどれか。

- 1 立脚中期に全足接地をする。
- 2 二重支持期は 40%である。
- 3 立脚相で膝関節は 1 回屈曲する。
- 4 遊脚相が立脚相の割合は 6 : 4 である。

問題 39

正常歩行時に若年者より高齢者で増加するのはどれか。

- 1 歩幅
- 2 速度
- 3 前傾姿勢
- 4 骨盤回旋